

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成23年11月14日

**【四半期会計期間】** 第141期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

**【会社名】** 株式会社ソトー

**【英訳名】** SOTOH CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 高岡 幸郎

**【本店の所在の場所】** 愛知県一宮市籠屋五丁目1番1号

**【電話番号】** 0586(45)1121(大代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理担当 上田 康彦

**【最寄りの連絡場所】** 愛知県一宮市籠屋五丁目1番1号

**【電話番号】** 0586(45)1121(大代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理担当 上田 康彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所  
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第140期 第2四半期 連結累計期間	第141期 第2四半期 連結累計期間	第140期
会計期間		自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日
売上高	(千円)	5,383,007	5,913,119	10,529,631
経常利益	(千円)	186,020	600,044	601,919
四半期(当期)純利益	(千円)	65,963	387,494	342,964
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	118,742	393,298	280,878
純資産額	(千円)	14,713,552	15,031,909	14,858,230
総資産額	(千円)	17,665,159	18,008,232	17,835,205
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	5.18	30.45	26.95
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	83.3	83.4	83.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	83,036	574,470	732,472
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	40,591	330,885	1,073,219
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	229,579	220,265	485,410
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	1,095,523	3,288,031	2,602,940

回次		第140期 第2四半期 連結会計期間	第141期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	9.87	2.51

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

4 第140期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(テキスタイル事業)

新規設立：株式会社Jファブリック・インターナショナル

この結果、平成23年9月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社7社により構成されることとなりました。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中に記載した金額には消費税等の金額は含んでおらず、将来に関する事項の記載については当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から持ち直しつつありますものの、歴史的な円高水準、欧州の財政不安や米国の景気低迷など先行きに対する不透明感が増す状況となりました。

このような情勢のなかで、当社グループは平成22年度を初年度とする中期3ヵ年経営計画を着実に実行し、染色加工事業で培った「感性技術」をベースに、テキスタイル事業と一体となってグローバル展開を図り、安定的・持続的成長を実現してまいります。

なお、染色加工事業において、平成24年1月末日を目処に現在の子会社を含めた4工場体制から3工場体制に組織を再編し、一層の合理化に取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高59億1千3百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益4億9千5百万円（前年同期比34.6%増）、経常利益6億円（前年同期比222.6%増）、四半期純利益3億8千7百万円（前年同期比487.4%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「染色加工事業」は、前期譲受けた事業が寄与したことやウール素材がファッショントレンドとして評価されていること等により、売上高45億9千3百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益3億6千1百万円（前年同期比83.2%増）となりました。品種別売上高は、織物が24億9千5百万円（前年同期比16.8%増）、ニットが20億9千7百万円（前年同期比4.2%増）であります。

「テキスタイル事業」は、売上高10億4千万円（前年同期比9.0%増）、営業損失3千3百万円（前年同期は営業利益5百万円）となりました。

「不動産賃貸事業」は、売上高2億7千9百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益1億6千7百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、主に流動資産の増加等により、前連結会計年度と比べ1億7千3百万円増加し、180億8百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度並みの29億7千6百万円となりました。純資産につきましては、利益剰余金の増加等により1億7千3百万円増加し、150億3千1百万円、自己資本比率は83.4%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加額3億2千8百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益4億1千1百万円、減価償却費3億8千1百万円があったこと等により、5億7千4百万円の増加（前年同期は8千3百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出3億1千8百万円があったものの、有価証券の売却及び償還による収入5億円及び投資事業組合からの分配による収入1億4千6百万円があったこと等により、3億3千万円の増加（前年同期は4千万円の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額2億5千4百万円があったこと等により2億2千万円の減少（前年同期は2億2千9百万円の減少）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、前連結会計年度と比べ6億8千5百万円増加し、32億8千8百万円となりました。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、3千2百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,933,757	13,933,757	東京証券取引所 (市場第二部) 名古屋証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	13,933,757	13,933,757		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日		13,933		3,124,199		359,224

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社ダイドーリミテッド	東京都千代田区外神田3-1-16	1,595	11.4
大同生命保険株式会社	大阪市西区江戸堀1-2-1	846	6.0
三井住友海上火災保険株式会社	東京都中央区新川2-27-2	500	3.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	497	3.5
株式会社トーア紡コーポレーション	大阪市中央区瓦町3-1-4	400	2.8
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1-1-5	375	2.6
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2-2-1	367	2.6
株式会社ワールド	神戸市中央区港島中町6-8-1	330	2.3
明治安田生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内2-1-1	221	1.5
株式会社十六銀行	岐阜市神田町8-26	198	1.4
計		5,331	38.2

(注) 上記のほか当社所有の自己株式1,206千株(8.6%)があります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,206,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,716,900	127,169	
単元未満株式	普通株式 10,657		1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	13,933,757		
総株主の議決権		127,169	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が88株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ソトー	愛知県一宮市籠屋 5-1-1	1,206,200		1,206,200	8.6
計		1,206,200		1,206,200	8.6

## 2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

### (1) 退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役	経営企画担当兼管理担当	中島 紀男	平成23年9月8日

### (2) 役職の異動

新任名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役（経営企画担当兼管理担当兼テキスタイル事業部長）	取締役（テキスタイル事業部長）	上田 康彦	平成23年9月8日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,380,392	1,454,213
受取手形及び売掛金	1,696,739	2,025,691
有価証券	1,749,935	1,901,249
完成品	115,247	181,326
仕掛品	232,953	216,665
原材料及び貯蔵品	302,669	320,155
繰延税金資産	5,479	4,229
その他	154,998	151,605
貸倒引当金	2,500	2,500
流動資産合計	5,635,914	6,252,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,795,981	1,665,207
機械装置及び運搬具(純額)	1,076,847	1,173,956
土地	1,149,777	1,149,777
リース資産(純額)	6,094	2,596
建設仮勘定	23,946	5,478
その他(純額)	67,415	63,631
有形固定資産合計	4,120,063	4,060,647
無形固定資産		
のれん	152,380	133,333
その他	14,484	13,579
無形固定資産合計	166,865	146,912
投資その他の資産		
投資有価証券	6,922,079	6,551,130
長期貸付金	1,074	1,074
繰延税金資産	393,392	415,503
その他	598,105	582,615
貸倒引当金	2,290	2,290
投資その他の資産合計	7,912,362	7,548,033
固定資産合計	12,199,291	11,755,594
資産合計	17,835,205	18,008,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	399,757	409,377
リース債務	798	798
未払法人税等	64,533	61,483
未払費用	387,383	397,410
役員賞与引当金	14,000	7,000
その他	546,097	585,508
流動負債合計	1,412,570	1,461,578
固定負債		
リース債務	2,197	1,797
退職給付引当金	498,092	519,995
長期預り保証金	618,663	618,663
繰延税金負債	231,535	229,426
負ののれん	138,110	69,055
資産除去債務	63,300	63,300
その他	12,506	12,506
固定負債合計	1,564,404	1,514,744
負債合計	2,976,975	2,976,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,124,199	3,124,199
資本剰余金	1,348,828	1,348,828
利益剰余金	11,308,054	11,440,998
自己株式	1,361,508	1,361,577
株主資本合計	14,419,573	14,552,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438,656	463,597
その他の包括利益累計額合計	438,656	463,597
少数株主持分	-	15,863
純資産合計	14,858,230	15,031,909
負債純資産合計	17,835,205	18,008,232

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,383,007	5,913,119
売上原価	4,555,822	4,894,776
売上総利益	827,185	1,018,343
販売費及び一般管理費	458,862	522,663
営業利益	368,322	495,680
営業外収益		
受取利息	12,416	3,036
受取配当金	84,075	79,300
負ののれん償却額	69,055	69,055
その他	9,700	4,945
営業外収益合計	175,248	156,337
営業外費用		
売上割引	28,784	30,437
投資事業組合運用損	327,379	19,988
その他	1,387	1,547
営業外費用合計	357,550	51,973
経常利益	186,020	600,044
特別利益		
固定資産売却益	6,118	-
投資有価証券売却益	7,014	-
特別利益合計	13,132	-
特別損失		
固定資産処分損	11,149	24,425
投資有価証券評価損	103,085	164,215
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	63,300	-
特別損失合計	177,535	188,640
税金等調整前四半期純利益	21,617	411,403
法人税等	44,346	43,045
少数株主損益調整前四半期純利益	65,963	368,357
少数株主損失( )	-	19,136
四半期純利益	65,963	387,494

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	65,963	368,357
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	184,705	24,940
その他の包括利益合計	184,705	24,940
四半期包括利益	118,742	393,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,742	412,435
少数株主に係る四半期包括利益	-	19,136

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	21,617	411,403
減価償却費	335,664	381,059
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	63,300	-
のれん及び負ののれん償却額	49,055	50,007
貸倒引当金の増減額(は減少)	25,440	-
役員賞与引当金の増減額(は減少)	7,000	7,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,727	21,903
受取利息及び受取配当金	96,492	82,336
有形固定資産処分損益(は益)	5,030	24,425
投資有価証券売却損益(は益)	7,014	-
投資事業組合運用損益(は益)	327,379	19,988
投資有価証券評価損益(は益)	103,085	164,215
売上債権の増減額(は増加)	818,541	328,952
たな卸資産の増減額(は増加)	63,007	67,278
仕入債務の増減額(は減少)	82,469	9,619
未払費用の増減額(は減少)	120,702	10,027
未払消費税等の増減額(は減少)	25,243	466
その他	59,632	58,303
小計	6,460	565,837
利息及び配当金の受取額	96,492	82,336
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	19,916	73,703
営業活動によるキャッシュ・フロー	83,036	574,470
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(は増加)	36,028	39,243
有価証券の売却及び償還による収入	500,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	237,209	318,875
有形固定資産の売却による収入	6,862	564
投資有価証券の取得による支出	24,635	2,798
投資有価証券の売却及び償還による収入	10,523	2,802
投資事業組合からの分配による収入	71,918	146,386
預り保証金の返還による支出	158,833	-
事業譲受による支出	200,000	-
その他	45,246	42,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	40,591	330,885
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	229,371	254,797
自己株式の取得による支出	11	68
少数株主からの払込みによる収入	-	35,000
その他	196	399
財務活動によるキャッシュ・フロー	229,579	220,265
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	187,134	685,091
現金及び現金同等物の期首残高	1,282,658	2,602,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,095,523	3,288,031

【継続企業の前提に関する事項】

当第2四半期連結会計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	第1四半期連結会計期間より、新たに設立した株式会社Jファブリック・インターナショナルを連結の範囲に含めております。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更	該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形割引高 249,196千円	受取手形割引高 223,148千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日至平成22年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
販売費及び一般管理費の主なもの		販売費及び一般管理費の主なもの	
給料手当	120,741千円	給料手当	144,678千円
役員報酬	35,619千円	役員報酬	35,910千円
減価償却費	5,267千円	減価償却費	4,719千円
退職給付費用	9,346千円	退職給付費用	11,038千円
研究開発費	37,491千円	研究開発費	32,186千円
貸倒引当金繰入額	25,440千円		

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末 残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されてい る科目の金額との関係(平成22年9月30日現在)	現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末 残高と当第2四半期連結貸借対照表に掲記されてい る科目の金額との関係(平成23年9月30日現在)
現金及び預金 1,097,036千円	現金及び預金 1,454,213千円
預入期間が3か月超の定期預金等 52,227 "	預入期間が3か月超の定期預金等 67,431 "
追加型公社債投資信託 50,714 "	追加型公社債投資信託 1,901,249 "
現金及び現金同等物 1,095,523千円	現金及び現金同等物 3,288,031千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	229,104	18	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年11月11日 取締役会	普通株式	254,560	20	平成22年9月30日	平成22年12月1日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	254,551	20	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計  
期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月10日 取締役会	普通株式	254,549	20	平成23年9月30日	平成23年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)	四半期連結損 益計算書計上 額(千円)
	染色加工事 業 (千円)	テキスタイル 事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,150,748	954,366	277,892	5,383,007		5,383,007
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	83,281	4,504	13,950	101,736	101,736	
計	4,234,030	958,871	291,842	5,484,744	101,736	5,383,007
セグメント利益	197,157	5,891	165,274	368,322		368,322

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注)	四半期連結損 益計算書計上 額(千円)
	染色加工事 業 (千円)	テキスタイル 事業 (千円)	不動産賃貸 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,593,075	1,040,234	279,809	5,913,119		5,913,119
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	110,276		13,896	124,172	124,172	
計	4,703,351	1,040,234	293,705	6,037,291	124,172	5,913,119
セグメント利益又は損失( )	361,279	33,209	167,609	495,680		495,680

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	5円18銭	30円45銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	65,963	387,494
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	65,963	387,494
普通株式の期中平均株式数(株)	12,728,019	12,727,498

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第141期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)中間配当については、平成23年11月10日開催の取締役会において、平成23年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 254,549千円

1株当たりの金額 20円

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成23年12月1日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

株式会社ソトー  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松本千佳

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木賢次

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソトーの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソトー及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。